

# CASBEE<sup>®</sup> - 建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	千里竹見台団地 C10号棟	階数	地上10F地下1階
建設地	大阪府吹田市竹見台2丁目1番地	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、25m第	平均居住人員	665 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年6月 予定	評価の実施日	2018年12月1日
敷地面積	8,564 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社遠藤剛生建築設計事務所
建築面積	1,474 m <sup>2</sup>	確認日	2018年12月17日
延床面積	11,415 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社遠藤剛生建築設計事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (92 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 88%

③上記+②以外の 88%

④上記+ 88%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

Q1 室内環境 (スコア= 3.3)

Q2 サービス性能 (スコア= 2.9)

Q3 室外環境(敷地内) (スコア= 3.8)

#### LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー (スコア= 3.3)

LR2 資源・マテリアル (スコア= 3.3)

LR3 敷地外環境 (スコア= 3.1)

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 当建物は昭和42年に共用開始された団地の一部建替である。基本的には既存の配置、規模を継承しつつ、時代に合った建物を計画している。		<b>その他</b> 既存地形をできるだけ踏襲し、切土盛土を極力低減。かつ既存自然環境の保全に努めている。
<b>Q1 室内環境</b> ・戸境壁 コンクリート壁厚200以上 ・住宅性能表示の温熱環境対策等級4 ・建材はF☆☆☆☆ ・幅広サッシ採用	<b>Q2 サービス性能</b> ・建築物移動円滑化基準を満たす。 ・共用部のインテリア計画と景観照明計画を行っている。 ・共用部・外装仕上の防汚、防錆に配慮。 ・共用部の維持、管理、修繕、清掃に配慮。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・街並み・景観について、配置、植栽、色彩、記憶の継承、周辺からの景観に配慮 ・エントランスに大庇を設置。屋外空間の開放性確保。 ・既存樹木をできるだけ保存する計画とした。
<b>LR1 エネルギー</b> ・住宅性能表示のエネルギー消費量対策等級4	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 0	<b>LR3 敷地外環境</b> ・照明計画は照明の専門家が参画。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0129

Osakafu-新築-既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	千里竹見台団地 C10号棟						
	建設地	大阪府吹田市竹見台2丁目1番地						
	用途/区分	集合住宅						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						3	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	建物の断熱性						4	
④	エネルギー削減						3	
⑤	自然エネルギー直接利用						○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—

## エネルギー消費量の報告

対象外

### 【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.4	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.2	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

### その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		